

猪名川上流広域ごみ処理施設  
環 境 保 全 委 員 会

第 4 5 回委員会会議録

平成 2 8 年 6 月 2 1 日

猪名川上流広域ごみ処理施設組合

## 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会

### 第45回委員会会議録

1. 日時：平成28年6月21日（火） 18：30～19：05

2. 場所：川西市役所 4階 庁議室

3. 出席者 (◎委員長、○副委員長)

学識経験者	◎吉田 篤正	大阪府立大学大学院工学研究科教授
学識経験者	中嶋 鴻毅	元大阪工業大学情報科学部情報メディア学科教授
学識経験者	原田 正史	大阪市立大学大学院医学研究科特任教授
学識経験者	服部 保	兵庫県立大学自然・環境科学研究所名誉教授
学識経験者	○尾崎 博明	大阪産業大学工学部都市創造工学科教授
学識経験者	渡辺 信久	大阪工業大学工学部環境工学科教授
周辺地域住民代表	清水 正克	国崎自治会
周辺地域住民代表	鈴木 啓祐	猪名川漁業協同組合
周辺地域住民代表	北野 正	黒川・新滝地区
周辺地域住民代表	中西 俊裕	野間出野区
組合区域住民代表	三浦 光子	川西市在住
組合区域住民代表	松倉 麻美	川西市在住
組合区域住民代表	松本 安二	川西市在住
組合区域住民代表	椋本 由美子	猪名川町在住
関係行政職員等	樋口 進	阪神北県民局
関係行政職員等	向居 忠昭	水資源機構
関係行政職員等	西田 啓治	川西市
関係行政職員等	曾野 光司	猪名川町
関係行政職員等	森嶋 正己	豊能町
関係行政職員等	前田 博之	能勢町
事務局	数元 雅信	施設組合事務局長
事務局	吉川 泰光	施設組合事務局次長兼総務課長
事務局	大上 肇	施設組合事務局施設管理課長
事務局	岡崎 健作	施設組合事務局施設管理課主幹

4. 配付資料

- ・第44回環境保全委員会会議録について（資料1）
- ・排出源モニタリング
  - ①大気質（排ガス）（資料2-1）
  - ②水質（資料2-2）
  - ③処分対象物（資料2-3）
- ・環境モニタリング
  - ①哺乳類調査（資料3-1）
  - ②動物調査（コウモリ）（資料3-2）
  - ③大気質調査（3回目）（資料3-3）
  - ④水質調査（3回目・4回目）（資料3-4）
  - ⑤底質調査（2回目）（資料3-5）

## 5. 次第

### 1 議事

(1) 第44回環境保全委員会会議録について（資料1）

(2) 環境影響調査結果について

#### 2) - 1 排出源モニタリング

- ①大気質（排ガス）（資料2-1）
- ②水質（資料2-2）
- ③処分対象物（資料2-3）

#### 2) - 2 環境モニタリング

- ①哺乳類調査（資料3-1）
- ②動物調査（コウモリ）（資料3-2）
- ③大気質調査（3回目）（資料3-3）
- ④水質調査（3回目・4回目）（資料3-4）
- ⑤底質調査（2回目）（資料3-5）

### 2 その他

開 会 18時30分

### ○事務局

第45回環境保全委員会を開催させていただきます。

本日は大変お忙しい中、環境保全委員会に御出席をいただきまして、まことにありがとう

ございます。

議事に先立ちまして、委員及び事務局に異動がございましたので御報告をさせていただきます。

まず、関係行政機関の水資源機構から、一庫ダム管理所の向居所長を新たに選任いただいております。

また、川西市から美化環境部参事兼環境創造課長の西田様、猪名川町から産業観光課長の曾野様を御選任いただいております。

それでは、向居委員、西田委員、曾野委員、一言ずつ自己紹介をお願いいたします。

○向居委員

こんばんは。一庫ダムの向居でございます。

平成19年に、実はこちらのほうにおりまして、約2年間、仕事をしていました。9年ぶりで、こちらに帰ってまいりました。また、ひとつ、よろしくをお願いいたします。

○西田委員

この4月1日付で環境創造課のほうに異動してまいりました西田でございます。よろしくお願い申し上げます。

○曾野委員

同じく、この4月で、産業観光課長をしてございます曾野でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局

ありがとうございます。

続きまして、事務局の異動の報告をさせていただきます。

事務局次長の水和の異動に伴いまして、後任の私、吉川が着任しております。何分ふなれではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

続きまして、委員の御出欠でございます。

周辺住民の持井委員、組合地域住民の曲尾委員と古田委員より御欠席の御連絡をいただいております。

また、それ以外の委員でまだお見えになっておられない委員もおられますけれども、順次お見えになると思いますので、先に進めてまいりたいと思います。

なお、本日、施設の管理運營業務を委託しておりますJFEエンジニアリング株式会社、そして環境影響調査業務を委託しております株式会社オオバから出席をいただいておりますので、御報告いたします。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料につきましては、事前に郵送させていただいております。レジュメの次に、前回の会議録が11ページまで。その次に、調査結果の概要で、その後ろに排出源モニタリングの資料として2-1から2-3まで。環境モニタリングの資料といたしまして3-1から3-5まで。その後に資料4、気象庁降雨量データをつけております。

また、本日、追加資料といたしまして、平成28年4月1日現在の委員名簿と、前回の第44回環境保全委員会資料のうち数字が不鮮明な箇所がございました図1-1、植生調査区位置図に加えまして、今回の資料3-1に記載しております表1-1の調査日に誤りがございましたので、机上に追加配付させていただいております。御面倒ですが、追加資料と差しかえをお願いいたします。

資料の確認は以上でございます。

それでは、委員長、議事の進行につきまして、よろしく願い申し上げます。

◎委員長

それでは議事に従いまして、まず議事録の確認のほうをよろしく申し上げます。

○事務局

それでは、第44回の会議録についてでございますが、レジュメの次をごらんください。

会議録の案につきましては事前に御確認の依頼をしておりまして、委員から修正の申し出等をいただいた部分や字句の訂正などを反映して調製いたしております。

以上、よろしく願い申し上げます。

◎委員長

それでは確認のほうを少ししていただきまして、特になければ議事録を承認させていただきますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

なければ、議事録のほうは、これで確定とさせていただきたいと思います。

それでは続きまして、環境影響調査結果についてということで、よろしく願いいたします。

○事務局

それでは、環境影響調査結果についての御説明をさせていただきます。

会議録の次のページに調査結果の概要といたしまして、今回御報告させていただきます排出源及び環境モニタリングの調査結果を取りまとめております。

なお、今回の排出源及び環境モニタリングの調査結果につきまして、事務局で結果を見る限り、注意を必要とするようなポイントは見当たりませんでした。

また、御説明させていただく資料については、事前に当委員会の学識経験者、評価部会の委員の方々に資料を送付し確認をしていただきましたが、今回の調査結果に対しまして、御

意見等はいただいておりますことを御報告申し上げます。

それでは、まず環境影響調査の排出源モニタリング結果について、資料に沿って御説明をさせていただきます。資料2-1の大気質（排ガス）の中間報告をごらんください。

まず、2-1の1ページに調査内容と調査結果の概要、2-1の2ページから8ページは調査結果となっております。2-1-2ページでございますけれども、排ガス全般の調査につきましては、平成28年1月6日、2月29日に実施いたしまして、調査した全ての項目において管理基準値以下となっております。

ページ、少し飛びますが2-3-3ページをごらんください。

2-3-3ページには、排ガス調査におけますダイオキシン類測定値変動グラフをつけております。グラフの下には、1号炉及び2号炉の活性炭交換時期を記載させていただいております。

続いて2番目でございます。水質調査でございます。資料2-2をお開きください。

2-2-1ページには調査内容と調査結果の概要を、続いて、2-2-2ページは下水道放流水の調査結果を、2-2-3ページは雨水の調査結果を、2-2-4ページには盛土部浸透水（地下水）の調査結果を、2-2-5ページには、図1といたしまして、それぞれの採水地点を示しております。

2-2-2ページの下水道放流水の水質につきましては、平成28年1月12日、2月3日、3月2日に調査し、全ての項目において基準値以下でございました。

次に、2-2-3ページの雨水の水質につきましては、平成28年2月20日に調査し、全ての項目において参考値以下でございました。

続いて、2-2-4ページでございますけれども、盛土部浸透水の水質につきましては、平成28年1月29日に調査し、全ての項目において、これも参考値以下でございます。

3番目に、処分対象物でございます。資料2-3をお開きください。

まず、2-3-1ページには調査内容と調査結果の概要を、2-3-2ページは調査結果でございます。

溶融スラグにつきましては、平成28年1月12日、25日に調査いたしまして、全ての項目で基準値以下でございました。溶融飛灰固化物につきましては、山元還元業者に引き渡していることから、基準の適用というのはございません。

環境影響調査の排出源モニタリング結果についての御説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

◎委員長

ありがとうございました。

ここまでで、何か御質問、あるいは御意見はございますでしょうか。特にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは続きまして、環境モニタリングのほうの御説明のほうをよろしく申し上げます。

#### ○事務局

それでは続きまして、環境モニタリング結果について御説明をさせていただきます。

まず1番目に、哺乳類の調査でございます。資料3-1をごらんください。

3-1-1ページに調査内容を、続いて3-1-2ページは図1-1といたしまして業務実施箇所を、3-1-3ページから10ページは調査結果となっております。また、3-1-11ページから26ページは現地写真でございます。

哺乳類の調査といたしましては、平成28年1月25日から2月1日まで実施し、5目10科15種の哺乳類が確認されております。確認された哺乳類は、森林環境を好む種、または多様な環境に生育する種であり、事業区域及び、その周辺に見られる森林環境は、これらの種の生育環境として維持されていると考えられます。また、外来種のアライグマが確認されており、今後の生息状況に注意したいと考えています。

2番目に、動物のコウモリ類でございます。資料3-2でございます。

3-2-1ページでございますけれども調査内容を、3-2-2ページには、図2-1として業務実施箇所を、3-2-3ページから11ページには調査結果を、3-2-13ページから20ページは現地写真となっております。

平成28年1月27日の調査で確認されたコウモリ類は4種であり、キクガシラコウモリ64個体、コキグガシラコウモリ1個体、モモジロコウモリ1個体、テングコウモリ5個体、合計71個体でございます。既往調査と比較しますと、確認された種類、確認個体数、標識装着済みの個体の割合とも著しい変化は認められず、今年度の調査結果から、施設周辺環境におけるコウモリ類の生息状況に大きな変化はないと考えられます。

3番目に、3回目の大気質調査でございます。資料3-3をごらんください。

まず3-1-1ページには調査概要を、3-3-2ページには、図1-1として大気質調査地点位置を、3-3-3ページには測定方法、調査期間を、3-3-4ページから18ページは調査結果となっております。また、3-3-19ページから22ページは現地写真でございます。

まず7日間連続測定は、平成28年2月10日零時から2月16日24時までの間で実施いたしました。いずれの調査地点においても、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び光化学オキシダントは、環境基準値を満足する値でございました。

1検体測定項目では、環境基準等が定められている項目については、全調査地点において

環境基準等を満足した結果でございました。

4番目に、水質調査でございます。資料3-4をごらんください。

まず、3回目の冬季分でございます。3-4-1ページには調査概要と測定方法、調査時期を、3-4-2ページには、図2-1として水質調査地点位置を、3-4-3ページには、採水時の天候、調査結果を。なお、調査結果は3-4-4ページまででございます。

平成28年2月24日に調査した項目は、いずれも環境基準を満足しており、その他の項目においても異常値は認められませんでした。

次に、3-4-5ページをごらんください。4回目といたしまして、春季分でございます。

3-4-5ページは調査概要と測定方法、調査時期を、3-4-6ページには、図3-1といたしまして水質調査地点位置を、3-4-7ページには採水時の天候、調査結果を。なお、調査結果は3-4-8ページまででございます。3-4-9ページから12ページでございますけれども、3回目、4回目の現地写真となっております。

平成28年4月11日に調査し、環境基準等が定められている項目のうち、環境基準を満たさなかった項目は大腸菌群数でございました。大腸菌群数以外の環境基準が定められている項目は、いずれも環境基準を満足しており、その他の項目においても異常は認められませんでした。

最後に、河川底質調査でございます。資料3-5でございます。

まず、3-5-1ページには調査概要、測定方法、調査時期を、3-5-2ページには、図3-1として底質調査地点位置を、3-5-3ページから8ページは調査結果となっております。また、3-5-9ページから14ページには現地写真でございます。

底質調査につきましては、平成28年2月24日と26日に実施いたしました。基準値が設定されております総水銀、PCB、ダイオキシン類については、分析結果は基準を満たす値となっております。

環境モニタリング調査結果についての御説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

#### ◎委員長

ありがとうございました。

量が多いですが、何か御質問、あるいは御意見はございますでしょうか。

哺乳類の調査のところでアライグマ、これは足跡だけだったかと。これまで、それは出てこなかった、今回初めてですか。

#### ○事務局

今回初めてアライグマの痕跡があったと。今までは、敷地、場内にアライグマが見受けら

れたというようなことはございませんでした。

◎委員長

周辺も含めて、この辺って、アライグマはいる。これは調査されてないかもわからない。かなりおるんでしょ。

○事務局

事務局ですけども、国崎を含みます北摂エリアにつきましては、アライグマの目撃例ですとか、農作物の被害なんかの報告もございますので、かなり分布しているであろうと思っております。

◎委員長

わかりました。

ほかに何かございますでしょうか。

○委員

前回の植生の報告もそうだったんですけど、鹿の食害による影響が、ここの生態系にもものすごく大きな影響が出てくると思うんですけども、今回の結果を見ると、カヤネズミやウサギの個体数の減少も鹿の影響じゃないかというようなことが出てるんですけど、これは一部には鹿柵もしてると思うんですけども、全体の中で、どの程度の鹿柵がされてるんでしょうか。

◎委員長

いかがでしょう。

○事務局

施設の周辺については、鹿柵は設けてはおります。それと一部、植生調査のために区切ったエリアなんかもありまけれども、獣害防止柵の長さとしては、全長で850メートルの鹿柵をしてる箇所と、1,001メートルの鹿柵エリアが設けられております。

以上です。

○委員

毎回、毎回、報告のたびに植生が荒れてるとか、そういう状況の報告が多いんですけども、直接的な理由というのは、別にこの施設の影響によって出たというわけじゃないですけど、鹿の一つのふえた理由としては、たくさんの法面をつくったことによって、結局、法面に草がはえて、その草を食べてるとするのがものすごいありますよね。あそこに行くと、いつも鹿がいるという。そういうような状況で見ると、鹿の増加自体も、やっぱり間接的な影響は、これをつくったことによってあったと思うんです。

それで、最近、鹿についているダニの被害というのが非常に問題になって、特に5年ぐら

い前に、妙見山の近くでツツガムシ病が発生してるんです。ツツガムシ病という非常に怖い病気で、もうほとんど絶滅したと思われてたけど、最近また復元して出てきてる。そういうような病気が出ているようなこともあるので、鹿対策というのを、もうちょっと本気でやらないといけないんじゃないかなと思うんですけども、いかがですか。

◎委員長

具体的に何か、やられていることはございますか。

○事務局

鹿対策につきましては防護柵が現にありますけれども、防護柵以外のところからも頻繁に出入りしておるといような状況もございますので、直ちに効果的な対策がとれるかと言われるればちょっと難しいかなというふうに思うんですけども、防護柵のメンテナンスですとか、そういったことを繰り返し行うなどして、鹿の食害などを防いでいきたいなというふうに思っております。

◎委員長

ありがとうございました。

ほかに何かございますでしょうか。

○委員

4月に大腸菌が多いというのは、これはやはり鹿のふんということなんでしょうか。大腸菌群数で、2回目の調査で多くなってるというのは、前もお話ししていただいたように鹿のふんが原因で多くなってるという、そういうことでしょうか。

○委員

前もお話ししましたけれど、やはり鹿、イノシシの増加が一番の原因だと思います。よろしいでしょうか。

◎委員長

よろしいでしょうか。

○委員

1回目と2回目が変わりますよね。2回目のほうが、イノシシと鹿は活躍してるということでしょうか。1回目の調査と2回目の調査では劇的に違うでしょ。だから、活躍している時期がそうなのかということがないと、納得はなかなかしにくいとは思んですけど。

○事務局

冬季の調査と春の時期の調査に違いがあろうかと思えます。冬季の場合は大変水温が低いので、大腸菌などの活動も抑えられてるんだらうなというふうに事務局のほうでは考えております。

以上です。

◎委員長

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

○委員

余り大きな問題ではないんですけど、3-3-6で、大気質調査結果で、右側の欄に「環境基準等（適○、否×）」があります。ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンなどの環境基準があるんですが、済みません、私は、この塩化水素の0.02ppmと、あと、水銀の0.04mg/キュービックメーターについては把握しておりません、上に「環境基準等」という「等」の言葉がついているんですけど、何か決まりがあったんですか。

○事務局

委員が御指摘のとおり、塩化水素と水銀については環境基準がございません。これにつきまして指針が示されているものがございましたので、その名称はちょっと覚えてはいたんですけども、そこから載せておるといことでございます。

○委員

日本の国が何か出してるのがあったんですか。

○事務局

環境省のほうだったと記憶はしております。

○委員

そうですか。ありがとうございました。

◎委員長

ありがとうございました。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。特に疑問の点、あるいは御意見等はございませんでしょうか。

なければ、この環境影響調査結果についてというところでは、かなりたくさんございますが、これで終わらせていただきたいと思います。

あと議事のほう、その他というのはありますか。

○事務局

事務局といたしましては特にございません。

以上でございます。

◎委員長

事務局のほうで用意されたのは以上なのですが、委員の皆様の方から何かございますでしょうか。特にはございませんでしょうか。

○委員

ちょっとごみ処理の問題で、私は川西の人間なんですけど、ごみ処理の音楽が変わってるんですね。あれは何か理由があって変えられたのか、それをちょっと。あれは何かに知らせてあります、こんなふうに変えましたっていう、御存じありませんか。曲が変わってて、僕は評価してるんですけど、非常に評価してて、今までは借り物の曲だったのが、オリジナルな曲になってまして、川西のほうの。それがおもしろいなと思ったから、どなたか御存じの方がいたら教えてほしいなと思ひまして。御存じなかったら結構です。いつごろからか、本当に変わりだしたんで。

○委員

川西市のほうの広報「みらいふ」のほうで、事前に音楽が変わるということが載ってありました。

○委員

どういういきさつで変わったかが知りたかったんですよ。御存じなかったらいいです。どなたかからクレームがあって、既存の曲を使うんじゃなしにオリジナルの曲を使ったほうがいいというような何かがあって変えたのか、ただちょっと変えてみようかと思って変えたのかということなんです。変えたからには何か理由があるはずだと、その理由が知りたかったんです。また、いつかおわかりになりましたら、どうぞお願いします。

○事務局

理由はわかりませんが、特にクレームがあったというふうには聞いておりませんが、多分、一新したんだと思います。特にクレームがあって変えたとか、そういうことではございません。理由につきましては、また調べておきます。

○委員

実は音環境のほうの専門ですので、そういうのに非常に興味を持っておりまして、全国で、そういうような運動があればいいと思ってまして、既存の曲を単に利用するというのは、あれはよくないことなんで、やっぱり独自もの、オリジナルなものでやっていくのが正しいかと。その地域、地域のオリジナル性があったほうがいいんじゃないかというのが昔からの私の持論なんですけど。それが実現してくれよかったなと思ってます。

○事務局

わかりました。ありがとうございます。また、理由は聞いておきます。

◎委員長

ありがとうございました。

ほかに何か。

○委員

議事録の10ページに、前回、3月10日のときの議事録があるんですが、その中で、前回、クモノスダを人と自然の博物館で10年ほど、もうずっと無償で預かっていたいてたんですけども、そのクモノスダを、もうそろそろ引きとっていただけないでしょうかということでお願いしました。今回、クモノスダを引きとっていただいて、今、組合のほうで預かっていたいてるようなので、クモノスダというのは見ただけでも全然、普通のシダとは違うシダでおもしろいので、ぜひ行かれたか方は見ていただいたらいいと思います。植木鉢に植えておりますので。

以上です。

◎委員長

クリーンセンターにあるんですか。

○委員

はい、クリーンセンターに。

◎委員長

今度、見せてもらいましょう。

○事務局

今、委員がおっしゃられたクモノスダにつきましては、管理棟エントランスホールのところまで育てておりますので、もしお立ち寄りのときには見ていただけるとと思いますので、よろしくお願ひします。

◎委員長

ありがとうございました。かなり貴重なものらしいので、よろしくお願ひします。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、きょうの環境保全委員会のほうを終わりたいと思います。ありがとうございました。

○事務局

委員長、議事の進行、どうもありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましては、慎重かつ円滑に御審議をいただきまして、まことにありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第45回環境保全委員会を終了させていただきます。

なお、お車でお越しの方につきましては、駐車場の出口に職員が立ちまして無料で通過で

きるようにいたしておりますので、よろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

19時05分 閉会

+